

いのち

Part. 2



「ウラジミールの聖母」12世紀 イコン モスクワ トレチャコフ美術館

日時 2023年10月21日（土）13：00～15：00

場所 東京純心大学第一会議室

定員 当日先着 20名（高校生以上）

提題者 塚本都子（看護学部教授）

テーマ 命を実感する

間中伴子（看護学部教授）

テーマ 「神聖なる聖母の愛」から学ぶ～「いのち」を守り抜くということ～

田尻真理子（現代文化学部教授）

テーマ 宮本久雄 著『言語と証人』から繙く「生」

Sr.前川満記子（純心聖母会）

テーマ 預けてくださったいのち

ファシリテーター 宮本久雄（本学看護学部教授）

【お問い合わせ】

東京純心大学 キリスト教文化研究センター

042-692-0326（代表）

プロフィールと提題内容のご紹介

塚本都子 (つかもと みやこ)

Australia GRIFFITH UNIVERSITY School of Nursing and Midwifery (bachelor of Nursing, Master of Nursing) 修了。看護師として老年内科病棟等で10年勤務。2015年4月、東京純心大学看護学部に着任。現在、老年看護学教授、看護学科長。実施中の研究課題は「高齢者施設における認知症高齢者への大学生によるICTコミュニケーションシステム構築」である。

命は有限であること、終わりがあることから学んでいます。自分自身の人生には価値があり、何かに関心を持ち、日々、目標に向かって生きていることでしょう。平和であればあるほど、人は欲深くなり、有難さや幸せを感じられずにいるのかもしれない。「10日間の命」となったら、あなたはどのように過去を振り返り、残りの人生を送りますか。尊い命について、老年内科病棟での臨床経験をもとに考えていきます。命は永遠であることに気がつくでしょう。

間中伴子 (まなか ともこ)

助産師として25年以上の経験を持つ。国際医療福祉大学大学院にて助産学修士号を修得。2011年から国際医療福祉大学大学病院の看護師長、2013年から看護師長と大学院講師を兼任し助産師教育に携わった。2022年4月より東京純心大学看護学部で教鞭をとる。担当科目は「母性看護学」「看護倫理」など。

マリア様の「神聖なる聖母の愛」には2つの側面があります。1つ目は「神聖なる愛」です。イエス様を生み育てられた時の母が子どもを思う気持ちです。2つ目は愛を貫くための叡智です。その叡智は、マリア様がイエス様を多くの試練から必死で守りぬく中で培われてきたものです。私は助産師として今まで多くの出産に立ち会ってきました。命がけで産んだわが子を胸に抱いた時に見せる母親の表情はまさに聖母マリア様のように感じます。だからこそいま社会で問題になっている虐待や育児放棄がなぜ起こるのか、私たちはどう向き合えば良いのか考えたいと思います。

田尻真理子 (たじり まりこ)

東京藝術大学美術学部博士課程満期退学。専門は 哲学・美学 (感性学) ・視覚文化。現在は、ハイアートもサブカルチャーも同一の俎上で考察する「視覚文化」の立場から、キリスト教芸術、特にキリスト教と食について研究を進めている。東京純心大学現代文化学部教授。

昨年度末に本学キリスト教文化研究センター愛智研究会から刊行された『カトリック文化 KATHOLIKOS』16号に「宮本久雄 著『言語と証人』を読むー「招き」に応え、相生を模索するー」と題した書評を寄稿しました。ご著書を読みながら、あるいは筆を走らせながら「生」についてのいくつかの疑問が湧き上がってきました。今回は、またとない機会。その疑問を直接著者に投げかけてみたいと思います。果たして、どのような言葉が編まれていくのでしょうか。

前川満記子 (まえかわ まきこ)

長崎県平戸市生。純心中学、高等学校卒、大学卒業後、純心中学高等学校に奉職。純心聖母会入会。会員として東京、長崎、鹿児島の中高の教諭、東京純心大学キリスト教文化センターの支援とカトリック研究室 (通称・アンジェラ会) に奉仕。現在に至る。

「いのち」は神様が預けてくださったものであり、預かったものはお返ししなければなりません。そしてお返しする時には何かを添えるのが普通ではないでしょうか。また、お預かりしたものをお返しするまでは、どのようにしておけばいいの。などを聖書や、学園創立者であるシスター江角ヤス先生の言葉から模索してみたいと思います。生徒、学生、卒業生、教職員一人一人が「預けてくださりたいのち」であると心に留め、どのように関わって来たかを振り返ってみたいと思います。

宮本久雄 (みやもと ひさお)

1945年生まれ、東京大学で哲学を学んだ後、カナダ、エルサレム、パリなどに遊学。東京大学教授、上智大学教授を経て、現在東京純心大学教授。専攻：哲学、教父学、聖書思想。著書：『聖書と愛智』(新世社)、『他者の風来ルーアッハ・ pneuma・ 気をめぐる思索』(日本キリスト教団出版局)、『ハヤトログアとエヒエログア』(教友社)、『出合いの他者性』(知泉書館)、*La Résurrection de l' autre : L' exode d' Auschwitz*, ATF Press France, 2018

表面の絵画：イコン「ウラジミールの聖母」12世紀 モスクワ、トレチャコフ美術館蔵
(参照 古谷功著『イコン神秘の美』1978年、あかし書房)

路線バスのご案内

<八王子方面から> 約15~20分

●京王八王子駅発 ④のりば

●JR八王子駅北口発 ⑪・⑫のりば

行先：純心女子学園、戸吹、秋川駅ほか

<拝島方面から> 約23分

拝島駅南口発 ③のりば

行先：純心女子学園、工学院大学

<秋川方面から> 約22~29分

秋川駅北口発 ②のりば

行先：JR・京王八王子駅

いずれも「純心女子学園」下車

